



No.83
2025
1.2月号

発行：松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

包括だより

令和6年度 松山市認知症地域支援・ケア向上事業

12月7日、浮穴公民館で認知症講演会を開催し、地域住民やサービス事業所から49名の参加がありました。講師に介護福祉士の杉本詠二氏をお招きし、これまで多くの認知症の人と関わった事例を基に、認知症の人との関わり方のコツ等を具体的にわかりやすくお話していただきました。講座の合間には優しい音色のオカリナ演奏もあり、とても好評でした。「認知症は怖い印象だったが、それ程ではなくなった」「穏やかに接することができる」「心が軽くなった」等の感想があり、参加者の多くが、認知症のイメージが良いものに変ったようです。（好光）

ズッコケ介護福祉士えいじろう先生の
「老人ホームは人間学校」

～認知症のある「じいさま・ばあさま」から教わったこと～



オカリナの心地よい音色にうっとりしました



笑いあり、感動ありの講演でした

令和6年度 和泉南 認知症徘徊高齢者声かけ訓練

12月8日、和泉南の住民を対象に町内会長や民生委員、まちづくり協議会、松山南交通安全協会、社会福祉協議会、南警察署、南消防署、地域の高齢クラブ等の関係機関の協力で「認知症徘徊高齢者声かけ訓練」を実施。当センター職員は「洗濯物を干している間におじいちゃんが行方不明になった」という寸劇を披露。家族がどこに連絡をしないといけないか等についての説明や、実際に地域を歩いて徘徊高齢者役を探し、声かけをする訓練も実施。地域住民からは「どのように声をかけたらいいか真剣に考えて訓練ができ、もし困っている人を見かけたら勇気を出して声をかけたい」等の感想がありました。今後も認知症への理解を深め、地域で支えることができるよう、このような訓練を広げていければと思います。（篠原）



警察の協力もあり、一緒に訓練しました

防災 講演会

10月16日、石井公民館で、講師に日本防災士会愛媛県支部女性防災士の門田侑子氏をお招きし『今すぐ始めよう大切な人の命を守るためにできること～能登半島地震ボランティアに参加して～』をテーマに当センター主催の講演会を開催。71人が参加しました。実際にボランティアに参加して見えた能登半島地震後の被災状況の話があり、すぐに取り組みたいことを参加者全員が考え、『これ、やります！宣言』で実践に向けて心に誓い合いました。(新家)



自宅や職場の防災を我が事として見直してみましよう

松山市消費生活講座 ＝津吉町高齢クラブ＝

10月17日、津吉公民館で、松山市消費生活講座を開催。25人が参加されました。消費生活普及啓発団体松山消費者四つ葉グループによる寸劇のほか、松山市消費生活センターの講義もありました。参加者は「知らない番号の電話には出ないようにしている」等の意見がありました。

(松本)



詐欺の手口を寸劇で
分かりやすく学びました

天山サロン

10月22日、天山分館で、株式会社リブドゥコーポレーションを講師に、福祉用具(排泄編)の講話を開催。排泄に関する知識や、骨盤底筋体操は解りやすく、また、パットの選定や使い方等の話もあり、大変勉強になりました。(坂本)



活用できる知識が多く
有意義な時間でした

福祉体験学習 ＝南中学校＝

11月7日、南中学校1年生を対象にした福祉体験学習を開催。高齢者の身体や気持ちの変化、介助方法や、装具を装着して疑似体験のほか、階段昇降や箸を使う、新聞をめくる等、日常生活動作の体験をしました。生徒は「今まで早く歩いてほしいと思っていたけど体験してみたらいけないと思った」等の感想がありました。

(安永)



体験を通して
気づきがあったようです

家族介護教室 ＝南高井＝

11月11日、南高井分館で、福祉用具をテーマに家族介護教室を開催。福祉用具貸与事業所アイルズの光田智哉氏を講師にお招きし、介護保険を利用したレンタルや購入、住宅改修について話がありました。車いすや歩行器等を体験する時間もあり、参加者からは「必要時お世話になりたい」等の感想がありました。

(杉本)



実際に体験することで
理解できました

＝北井門＝

11月13日、北井門集会所で、天山病院の大西竜輔理学療法士を講師にお迎えし「筋肉だけに頼らない転倒予防」の講演を開催。長時間じっとしてはいけなく、30分に1回は立ち上がる、心地良く体を揺らし脳幹や耳石を刺激し、眼球を動かす事も運動になる等を学びました。(掛水)



参加者より、また話を聞きたいと感想がありました

認知症サポーター養成講座

各所で認知症サポーター養成講座を開催し、有限会社オールラウンドコンサルティンググループでは初めての開催でした。身近に認知症の人と関わりがある人もいて、意欲的に講座へ参加されました。浮穴小学校と椿小学校では、実際に声掛け訓練も実施。児童からは「最初どう声を掛けたらいいかドキドキしたけど、声を掛けてみると何とか話をすることができて良かった」等と感想がありました。認知症の人に限らず、誰に対しても優しく、思いやりの気持ちを大切にサポーターとして地域で活躍してほしいと思います。（奥）



10月17日 オールラウンド
コンサルティンググループ



10月21日 浮穴小学校



11月22日 椿小学校



認知症サポーター養成講座を受けてみませんか？

認知症サポーター養成講座は、誰もが認知症の正しい知識をもつことから始めます。サポーターは「なにか」特別なことをする人ではなく、認知症の人とその家族の「応援者」です。すでに講座を修了した方は、**ステップアップ講座**もありますよ。ご興味のある方は、当センターまでお問い合わせください。

出張相談

高齢者何でも出張相談を開催しました。介護相談、血圧・握力測定を行いました。多くの皆さんに気軽にお立ち寄りいただき、交流することができました。（江原）



11月4日 秋のフェスタ（久谷）



11月10日 石井ふれあい広場



11月13日 J A松山市高井出張所



11月30日 南高井文化祭



12月1日 第39回石井地区農業祭



12月8日 天山ふれあい広場

令和6年度 椿カフェ

11月14日、愛媛県生涯学習センターで、浮穴・久谷地区合同椿カフェを、日本赤十字社愛媛県支部の鶴久森洋子氏を講師に招き、「災害時における高齢者への生活支援」を開催。11月21日には、石井公民館2階で、石井東地区椿カフェを開催しました。各地区民生委員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員、当センター職員が座談会形式で交流を図りました。参加者からは、「災害について学ぶことができた」「身近なもので防災グッズ作成ができた」「情報交換ができて良かった」等の感想がありました。今後も顔の見える関係づくりを続けていきたいと思えます。（渡部）



浮穴・久谷地区 避難時の寒さ対策を学びました



石井東地区 和気あいあいと交流を楽しみました

令和6年度 第1回 事例検討会

11月12日、愛媛県生涯学習センターで、石井・浮穴・久谷地区にある居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、事例検討会を開催しました。午前、午後各1事例ずつテーマを設け、いずれも新たな発見があるなど、ケアマネジャーの経験を重ねるという意味でも有意義な時間でした。（大北）



高齢者のよりよい暮らしのために
真剣に取り組めます

編集後記



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。
今回お届けの「包括だより」は、多くの催しについてご紹介しました。地域の皆様と共に当センターの職員も企画・準備などで大変でしたが、地域を中心に良い交流の機会を得ることができました。（二宮）

松山市地域包括支援センター

石井・浮穴・久谷

松山市東石井7丁目3番32号

TEL : 089-957-0808

松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

サブセンター浮穴・久谷

松山市東方町甲1272番地1

TEL : 089-905-8889